

昨年実施しました白樺会アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。ご意見をいただいた中で、特に回答や検討が必要な事項、または既に対応済みの事項をまとめました。
別紙全体のアンケート結果報告書と合わせ、ご確認ください。

① 対応済みまたは即回答、すぐできる事項(報告書赤字分)・・・回覧報告書に記載

- ・ボランティアの支給額をあげてほしい→総会の支出基準細則変更議案で対応、(マス花壇ボランティア除く)
- ・青葉小跡地の件どうなったか(1月26日青葉小跡地検討部会実施)
 - 公募で求める提案事項
 - ① 地域住民が集える場、地域活動を行える場の提案をして下さい。
 - ② 若い世代を含む多世代が交流する取り組みの提案をして下さい。
 - ③ 災害時における地域住民の避難について配慮した提案をして下さい。
 - ※児童会館跡地売却は時期がずれるため、紳士協定を結ぶ。
 - 令和8年度に公募提案型売却の実施～売買手続き令和8～9年にかけて事業者による跡地活用実施。
 - 令和10年度に児童会館跡地売却手続き実施。
- ・ペット同行避難所はあるか→青葉中、新札幌わかば小などの基幹避難所はペット同伴可。但し、ゲージ持参、人間と場所は別、フードは持参。大型犬はリードでペット用の場所につなぐ(要現場担当と調整)
- ・旧4班角の街路灯の新設要請→方法・手順・費用等確認していたところ、市の負担で5月頃設置の見込み。
- ・会費1年分納入したい→班長会議で確認。1年分のところも多く、班内で確認してください。必要なら回覧。
- ・青葉会館掃除機古い・重い・吸塵力ない→まちセン所長に要請、運営委員に個々に承認を得、新規に購入済み
- ・ミニミニ縁日情報(ホームページ)が得られなかった
 - ホームページの検索機能で2年分の投稿が表示されるので、ご確認ください。

② 今期中に検討・対応事項

- ・回覧が無理やり郵便受けに入れられ、留守がわかる、廃止してほしい。
 - 班の班長、役員、または会長までご相談ください。解決に向け、個別に対応させていただきたいと思います。
- ・回覧等、回覧板だけでは宣伝不足ではないか
 - a.掲示可能な事業所に、都度ではなく白樺会独自企画の回覧掲示を依頼
(てらさわさん、道新さん、ASAさん、北光幼稚園さんなど)
 - b.小林宅のような通りに面したフードがあるお宅に掲示依頼
などを恒常的にすることで、宣伝物の認識度を上げたい。
- ・余剰会費は還元してほしい
 - 排雪費との関りがあるので、班長会議で検討後、総会に諮る。
 - ※来年度以降パートナーシップの実施・廃止が未定の中で、排雪費として予算を取った額の処理、及び来期の戸建て班、事業所会員の年間2,200円の処理を検討
- ・匿名の目安箱を設置してほしい
 - 何らかのシステムで設置自体は簡単なことなので、匿名のものを設置したいと思います。
 - 案:アンケートと同様に困りごと、意見などの投稿をネット常設、紙の場合は小林宅直接投函
- ・戸建て、マンションバルコニーの植物越境、道路にはみ出し、喫煙の副流煙の件
 - ごみステーションの時のイメージで注意勧告の回覧実施

③ 来期に向け検討課題

・親睦旅行ではなく、茶話会などの親睦会は？

→親睦旅行とは別に、緩い親睦会を予算取り、検討したいと思います。

・マス花壇プレートは掲示板、有効活用を！

→現有のシステム、資材などでそのまま対応できるので、来期のマス花壇整備で、取り組みます。

(防犯・防災・慶弔宣伝・サロンなど)

・ゴミ拾いの実施

→そこら中散らかっているわけではないが、班長会議で確認

・バザーの実施

→親睦会と抱き合わせでも可能性を検討したい。

・発行物など用の白樺会のロゴ

→是非実施検討をしたい。8年ほど前に、同案はあった。

・ベンチ(さくら)公園のベンチの清掃(折角桜の名所なのに)

→確かに汚れているベンチがあるので、桜の季節前に設定して何らかの体制で実施してみたい。

・見守り・防災関連

→何点か提案、意見があったので、個別に取り組みに盛り込むなど、検討

・地域の博士さん(特技・知識を持った方)の活用

→検討

・子育て世代のボランティア活動

→親御さんが、子供と近所の大人との交流、繋がりがあると、安心できるという事は確かなので、そういう観点から企画を検討していきたい。

・スマホの使い方

→サロンでも実施実績、デジ田関連でも講習はあるが、そういうところに参加してください、だけではなく、親睦会抱き合わせ等でも考えたい。要求が多ければ、白樺会として講習開催(自前・外部依頼問わず)も検討

その他

・個々の規約、システム、行事などについては、認識が薄いものついて、来期から、一つずつ、丁寧な説明回覧を実施していきたい。

・公式 LINE については、誤解を招いたこともあるが、災害時の情報などの必要性を感じている意見も多いので、有料化を検討していきたい。

以上